

野中郁次郎著『私の履歴書（12）博士論文』日本経済新聞9月13日朝刊を読む

マネジメントの核は組織ではないか

1. 「マネジメントの核は組織ではないか」

(1) 人間関係論をベースにした組織論から刺激を受けた。

(2) 米国では、科学的な管理法に対する批判が出始め、人間の内面に目を向ける様々な理論が登場していた。

2. 「(小集団をピンで留めるように束ねた連結ピン組織の)メンバーが一体感を持つと生産性が高くなる」

*アーノルド・タンゼント

3. 「組織が生き延びるためには、環境がもたらす不確実性を減らす組織を作る必要がある」

4. (1) 「企業は、市場の多様性に直面すると、多様な情報を処理する」

(2) 「市場の多様性に対抗するためには、組織の内部に多様性を備えなければならない」

(3) 「多様性は多様性をもって制す」

*サイバネティクスの命題で組織と市場の関係を説明。

以上、野中郁次郎著「私の履歴書」日本経済新聞朝刊 2019年9月13日付朝刊文化欄より引用

<コメント>

日本経済新聞9月連載、野中郁次郎先生の「私の履歴書」9月13日掲載分の内容は示唆に富みます。是非、御熟読ください。

2019年9月15日(日)

林 明 夫